

第9回 逗子海水浴場の運営に関する検討会 概要

日時：令和4年11月29日（火）

14時30分～16時30分

場所：逗子市役所5階 第1・2会議室

出席者

[メンバー] 田中 美乃里、歌代 光雄、若菜 克己、山口 正志、菊池 俊一、
安重 宣子、和田 修芳、菊池 千春、岡田 和夫、深澤 忠房、
岩佐 正朗（順不同、敬称略）

[オブザーバー] 横須賀三浦地域県政総合センター企画調整課、逗子警察署地域課、
鎌倉保健福祉事務所環境衛生課

[事務局] 逗子市市民協働部経済観光課

課長 黒羽 秀昌、係長 楠元 仁、主事 宮上 敦久、主事補 井熊 拓海

欠席者

[メンバー] 菊井 健一、熊岡 寛展、黒田 尚弘、中尾 裕一、柳 勇次、
須田 武、徳本 恒徳、飯野 幸、松田 政治、

[オブザーバー] 横須賀土木事務所許認可指導課、公益財団法人かながわ海岸美化財団

会議公開の可否

可

傍聴者

2名

会議次第

1. 開会
2. 議題
 - (1) 来年度に向けた課題の整理
 - (2) その他
3. その他

配布資料

- 資料1. 令和4年度逗子海水浴場の運営に関する検討会報告書に記載する項目について
資料2. 令和3年度逗子海水浴場の運営に関する検討会報告書

1 開会

- ・事務局より、検討会は傍聴できることと、マスコミの傍聴について説明を行った。
- ・事務局より、資料確認を行った。
- ・本日の会議の趣旨説明を行った。
 - 前回の検討会で市作成の「令和4年度逗子海水浴場報告書」に基づいて、今年度の海水浴場運営について報告を行い、皆さんに今夏の所感・意見をいただいた。
 - 今回はさらに踏み込んで、項目ごとに所感や課題についてのご意見をいただきたい。
 - 来年1月末を目途に報告書をまとめたいと考えている。ご協力をお願いしたい。

2 議題

(1) 来年度に向けた課題の整理について

- ・事務局から配布資料及び検討会報告書へのまとめ方について説明を行った。
- ・報告書の内容について質疑があった。
 - 資料1の作り方について、今年度の所感の後に来年度に向けた意見という順番に記載すると、来年度に向けた意見の方が重要であるかのように見える。例えば4ページの外国人の項目の来年度に向けた意見には「特定の人を排除するようなことはしたくない。」と記載があり、これだと排除しない方向になっているように見えるが実際は排除してほしいとの意見が多かった。6ページには海の家営業時間の項目の来年度に向けた意見に「家の規模を大きくした方が良い。」とあるが、これだと大きくすることが全体の意見として捉えられかねない。
- ⇒資料1は、本日検討・協議をしていただくにあたっての参考資料として作成したものであり、あくまでもたたき台となる。検討会報告書の報告部分については、これから検討・協議していただいて詰めていくことになる。「所感なのか」「来年度に向けた意見なのか」も含めて議論していただきたい。
- 今までも検討会の中で賛否が分かれた際にどちらかにはっきりさせていない。所感は所感として書けということか。
- ⇒参考に昨年の報告書、資料2の3・4ページを見ていただくと、〈実施状況〉は資料1の〈実施状況〉と同じであり、〈意見〉は皆さんの所感と来年度の意見をどちらも全て記録として残している。それらの意見を踏まえ、この検討会として検討・協議した結果、個別の意見ではなく検討会としての報告内容が〈報告〉に表記している部分となる。
- 例えば「外国人を何とかしてほしい。」という要望が所感の中にあるが、全部〈意見〉になるのか。
- ⇒皆さんからいただいた意見を細かく細分化して分類はしていないが、項目ごとに話していく中で、所感として記載されていても〈報告〉に盛り込むべきという検討・協議の結果となれば、そのように記載する。
- 所感は全て〈意見〉のところに記載する。これらの意見を踏まえて、どのように検討会として〈報告〉にしようか議論する段階であり、検討・協議の結果によっては外国人を排除すべきという報告になる可能性もゼロではない。それをこの場で話していくと認識していただければと思う。今日の会議を経て、事務局が報告書案として次回には〈報告〉部分を文章化するはずなので、次回はそれについてさらに検討・協議していくこととなる。

- ・(1) 利用者について、次のとおり議論があった。

①海水浴場の風紀

- 米軍に関しては本格的に来ないでほしいと考えている。暴行事件に関して未だに司令官も謝りに来ていない。池子米軍住宅の人は良いと思うが、横須賀の米兵の質が悪いことが今回明らかになったわけなので、そこを排除することを行政としてアピールしてほしい。そういう対処をしなければ、米軍も変わらない。逗子は騒げる海岸であると米兵たちに思われている。悪い人間がいる限りは徹底すべき。特定の外国人グループについても来てほしくないから、排除する方向で考えるべき。現実的に排除することが難しかったとしても、姿勢をアピールしないといけない。悪い人間がいるのであれば排除しないと地域の安全は守れない。
- 外国人の項目に記載するか。
- ルールを守らない特定のグループに来てほしくないため、外国人かどうかは関係なく、外国人の項目ではない。
- そもそも外国人という項目があるのもどうかと思う。特定の対象者について言っていることなので、風紀の項目にまとめるべきか。
- 特定の悪いことをする人がいなくなれば全体が良くなる。皆が遠慮して言わないだけだと思ふ。

②ルールを守らない利用者について

- これまでは酒については飲んでダメと注意してきており、現在はそこから一步進んで表に出して開封している酒を捨てさせるところまで対応をしていると思うが、その時だけクーラーボックスの中にしまえば警備員もそれ以上注意できない。コンビニに張り紙等の啓発をお願いしても持ち込みはできるため、コンビニも注意がしづらい。持ち込み禁止というさらに一步踏み出した対応にするべき。アピール呼びかけの方法として、浜に来た時点で捨てさせるなどが良い。
- 入口で預かるのか。
- 捨ててもらうのが良い。持ち込ませない方法は考えるとしても持ち込みは禁止にするべき。
- 報告書は市長に渡すための資料だということで、前回市が作成した報告書についても市長に確認してもらって、その後検討会報告書を見てもらうのが良い。市の報告書は全体的に良かったという報告だったが、現実としてこれで良いのかという意見も多い。市長に出す検討会報告書はデメリットの意見を重点的にしたものにしてもらえれば、市長の判断もスムーズになるのではないかと。意見の羅列では判断材料としては難易度が高い。排除して、とあからさまに書いて良いのでは、というのが私の意見。提出する形としては直接的な表現で、箇条書きが良いのではないかと。あとは、報告書にメンバーの所属と名前と出席率、海岸組合の名簿リストを添付してほしい。これまでの報告書は漠然としていて整理するのが大変。
- 市長として何をしたら良いのかというのを助けるために、検討会としての意見などを挙げて、市長のアクションのヒントになるような提案を報告書には記載すべき。提案などを箇条書きで記載する項目などがあっても良いのではないかと。

⇒海水浴場は交流人口を増やすため、広く市内外の方に来ていただけるように開設をしている。そのことを考慮してご発言いただければと考えている。

- 事務局が検討会メンバーの発言を抑えるような意見をこの場で言うてはいけないと思う。
- メンバーの皆様からは率直な意見をいただきたいと考えている。しかしながら、できることとできないことは精査させていただきたい。
- 持ち込み禁止ということを盛り込む形で記載していただきたい。悪いところをこうした方が良いという意見も大事だが、これは継続した方が良いなども言ってもらいたい。
- 資料1の6ページに自分の意見が載っており、これは何度も言っていることだが、海水浴場は海を楽しむ場所であって、酒を飲むところではない。飲みたい人は海の家や街の居酒屋で飲めば良い。17時までは全体で海を楽しむ場所ときっちり決める。17時以降はドレスアップしてもらってお店の中で楽しんでもらう。海の家で飲んだ人が海で溺れたらどうするのかという問題はあるが、そういう決まりがあっても良い。日本一厳しい条例は数年前から言われていて誰も異論はないと思う。また、土日は逗子市民限定の海水浴場にすれば外国人も規制できるのではないか。
- 海の家ではなく風紀の項目に記載しても良いと思う。
- 特定の外国人の違反は周知の事実で、誰が悪いかわかっている。退場になっても次の週にはいつも通り来て違反を繰り返している。例えば海の家のエエローカードのように、一度退場勧告された者に対しては、厳しいペナルティを設けて、来させない仕組みも良いのではないか。
- 毎年言っているが、違反者の身分が明らかになっていないのが悪い。退場勧告するときには身分証を提示してもらうべき。こちらの身分証などは違反者に撮られている。一回退場処分にしたら出入り禁止にするなどの対応をしないといけない。同じグループにどれだけの税金が使われているのか。特定のグループのために警備員がいるみたいになっている。
- 警備員や職員が時間を取られているのは見ている。退場勧告になったら厳しく取り締まる取り組みを検討するといった記載をお願いしたい。
- 現実問題として外国人だからと区別をしてはいけない。同じ土俵で考えるべき。違反した日本人はマイナンバーカードを見せるのかということになる。アルコール検査などで飲酒が判明したら迷惑行為として名前を控えるなどの対応をとっても良いのではないか。正しいモラルを持ってもらう取り組みを考えてほしい。

⇒オブザーバーとして逗子警察署に出席いただいている。個人に身分を提示してもらうことに関して、例えば県の迷惑行為防止条例に該当すれば求められるなど、知見やアドバイスをいただければと思う。

- 身分証の提示について、警察官も警察法などの法的根拠に基づいて、基本的には任意で求めている。市民が行うとなると、さらに法的根拠もなく、お願いするレベルになる。条例などで「市職員が身分証の提示を求めることができる」といった文言があればできる可能性はあるが、あくまで任意の協力になると思われる。市民と市職員（公務員）でもまた違ってくると思う。
- 外国人はパスポートを携行しなければならず、警察は何時でも身分証の提示を求めることができるという聞いたが。

- 警察は公安職であるため、職務的に見て犯罪の危険性があると思われる時でないとは身分証の提示を求められない。不審点があるなど状況に応じた判断になる。
- やらうと思えばできるということはわかった。法律や条例で定める必要があるということも分かった。そこは市にやってもらうしかない。
- 退場勧告よりも前の飲酒行為、持ち込み行為を抑制することが大切である。浜で飲酒するような人たちが来たくないようなビーチにしてはどうか。酒を持ち込ませないことを徹底する方法を考えて、公へのアピールをもっとして、外国人にも伝えられるようにすればよいのではないか。今のままでは無駄が多く、入り口に警備を配置したほうがお金がかからないのではないか。浜でのアピールもそこら中に飲酒禁止の旗を立てるなど、周りで気付いた人が注意しやすい環境にしてほしい。警備員だけでなく皆で注意周知する方法で発信してほしい。
- 入り口で食い止めることを記載してほしい。手詰まり感があるので新しい方法を考える必要がある。

③外国人について

- 市としては外国人の違反行為が多かったと捉えているのか。
- 開設直後は暴行事件や退場勧告でクローズアップされたが、結果的に退場勧告の件数は昨年よりも減った。浜での飲酒は多かった。午前中から15時くらいまでは良いが、それ以降は外国人が来て夜までずっといるようなイメージだった。今年が特に悪かったというよりは例年と同じような状況だったかなと感じているが、事件の印象が大きかった。対策の手詰まり感はあるので新たな取り組みは必要と感じているが、現在も海水浴場条例に定めているぎりぎりのところまでやっている。そこから条例の解釈に幅を持たせて、酒の持ち込みまで触れるかどうか。日本人は徐々にルールが浸透しているイメージであり、外国人は良い人もいるが、悪い人が目立っている。悪い人のために全体のイメージを崩すのはさみしいので、特定の人への対処を特化できるように考えたい。
- 来年度に向けた意見の部分は、特定の属性で人を排除したくないという表現にしていたきたい。悪いことをしない外国人まで排除したいわけではない。
- 検討会に参加していない人にも伝わるように分かりやすい意見にすべき。差別的表現が良くないことは承知の上だが、意見をはっきり分かりやすく伝えるために排除すべきと言っている。
- 出て行ってほしい人には出て行っていただくとしても、福祉や行政の観点から偏って見えないように、あえて排除しないという意見も入れてほしい。

④ごみについて

- 個人的ではあるが、自分の店（街中）の前のごみの問題はひどい。どうしてこういったごみを捨てていくのかと思う。明らかに逗子市民ではない人のごみが捨てられている。南米系の人たちが文化なのか、酒瓶を割った状態で捨てていて、特に土曜の晩や翌朝は驚く。花火のごみはだいぶ少なくなったが、外国人が空き缶などのごみをクーラーボックスごと捨てていくこともあった。海岸組合の人たちが夜見回りをしてくれて減ってはいると思うが、週末はごみが多い。たばこの吸い殻も非常に多い。吸えるところがない

からか、海水浴場外で吸ってそのまま捨てていってしまう。風などが吹いたら、火事の危険もあって危ない。

- 砂浜で吸える場所がなかったことで、路上で吸う人が増えて、たばこのポイ捨てが散見された。所定の喫煙所は設ける必要があるのではないか。
- 紙巻きたばこ加熱式たばこで分類してしまうと、決まった場所で隠れて紙巻きたばこを吸う人がいる。分類しない方が良く、やめるならどちらもやめるべき。最近ではフィルターに金属が入っているものもあり、環境に非常に悪い。
- たばこのポイ捨てが多くなることも考慮し、煙のないビーチに逆行するかもしれないが、喫煙所を設けることも検討すべき。
- たばこを吸う人はどこに行ってもまず吸える場所を確認するため、所定の場所があればそこで吸うと思う。一人がたばこを吸ってポイ捨てすると、他の人も同じ場所に捨ててしまう。
- ごみ処理の有料化については、募金や寄付等でお金を集める仕組みを継続して検討していただきたい。
- 海岸中央のごみゼロナビゲーションのボランティアの人たちは頑張っている。

⑤感染症対策について

- 今年度と同様の取り組みを行っていただき、その時の状況に合った対応をしてもらえればと思う。

⑥その他について

- たばこに関してはごみの項目で整理。
- 資料1の記載は、「海の家はお酒の提供について徹底してほしい。」を「海の家は水上オートバイ操縦者にお酒の提供をしないように徹底してほしい。」に修正してほしい。
- 監視カメラは増やしても良いのではないかと。

・(2) 海の家について、次のとおり議論があった。

①海の家営業時間について

- 今年の営業の成果はどうだったか。
- 全般的に厳しかった。コロナの影響があったと思う。平日は特に人が少なく、土日はそこそこ来たがそれでも少ない。自分の店もコロナ前の3分の2くらいだった。極端に多い日があったわけでもない。ウォーターパークがあるからなのか、東と西で差が出ているかもしれない。
- すごく悪くもないけど良くもない。天気割には良くなかったが、天気のおかげで良かった。長くやっている店はなんとかやっていた一方で、年数が若い店は苦戦していた。
- ずっとやっているところはお客さんをつかんでいるんだなと思った。
- 毎年数回来る人が一回も来なかったということもあった。
- 営業時間については、20時までの営業に海の家が慣れてきてはいるが、本音は21時までやりたい。21時閉店としておいて、コロナの状況に応じてやっぱり20時にしようと

いうことも受け入れられる。20時までで数年きているので、いきなり全日21時までではできないとも思うので、お試しのよう形で土日だけ21時までなどでやりたい。

- 日没とお客さんの入りの関係はどうか。
- 夕涼みに来る人もいるのでそこまで変わらない。

②海の家音楽・イベントについて

- なぜヴィヴィアナのBGMはいつでも混在時と同じほど大きいのか。平日、まわりの海の家が静かな時も音が大きい。お客さんがいるわけじゃないからやめたほうがいい。
- 組合員は検討会の報告書ができたなら、全体で目を通す機会はあるのか。
- オープン前に各店舗にルールについては説明している。
- ルールをその都度聞かれるからコピーを渡すこともあり、オーナーに従業員も把握しているか確認してほしい。
- 全店舗に渡しているが、海の家に常に置いておくよう組合内で共有する。

③チェックリスト・イエローカード等ルール認識について

- 現在の仕組み継続で異論なし。

④海岸組合員によるマナーアップ警備員のパトロール同行について

- 浜だけではなく、夜にも街中をパトロールしていただいている。それで安心できるということが海水浴場の風紀の項目にも書いている。お店にスタッフが減るのは大変だと思うが、地域としてはありがたいと思っている。
- 警察官が制服で歩いてくれたので安心できた。
- 暗くなってきたときにシンボルロードを警察がパトカーでパトロールしてくれていたのは非常に良かった。
- 何としても継続してほしい。海水浴場の風紀の報告部分には、警察がいると誰もが安心だから継続してほしいと書いてほしい。
- 組合員による街中のパトロールは彼らの顔なじみの海水浴客にも効果があるのでありがたかった。
- 開設者として市による街中警備も必要であると思っており、その前提で予算要求もしている。その上でも、やはり警察の力は大きかったと感じている。組合員の方も清掃しながらパトロールしてくれた。逗子海岸の場合、すぐ近くが普通の生活道路なので、警備等の強化はしていきたいと考えている。引き続き、皆様のご協力をお願いしたい。

- ⑤感染症対策について

- 今年度の継続を基本とし、状況に応じた対応をしていくことで異論なし。

- ・ (3) 来年度海水浴場開設に向けてについて、次のとおり議論があった。

①開設の可否について

- 来年度も開設していただきたい。
- 今年度同様、コロナの状況によって対応をどうするかを事前に想定していただく形で取り組んでいただきたい。

②開設期間について

- 海岸組合としては、日曜日が最終日が良く、来年度も同じが良い。暦の関係で現行の9月上旬までの日程になっているだけで、8月31日が日曜日なら、そこまででも良いと思っている。

・ 2 振興策の提案について、次のとおり議論があった。

- 振興策をやらなくても今でも十分みんな楽しんでいるから、検討会としては、ルールを守ってもらう取り組みを考えていくべきなのではないか。来た人に気持ち良く過ごしてもらい、守らない人のせいで嫌な思いをしないようにすべき。リピーターも多いと思う。
- 今いる、来ている人たちを大切に、良い思い出を持ち帰ってもらいたい。
- ナイトウェーブとかは毎週できないのか。
- それが難しいのであれば、大きいものではなくても花火を毎週してほしい。サプライズ花火は良かったため、是非やってほしい。
- 募金やふるさと納税みたいなもので花火をできないのか。
- そうなるとシークレットではなくなる。
- シークレットも良いが、びっくりしてしまう。
- シークレットじゃないと、警備をつけないといけないなどの対応の難しさもある。
- シークレットとは言っても知っている人は知っていて、普段人がいない時間にも人がいっぱいいた。シークレットにこだわらなくてもよいのではないか。花火はやってほしい。
- ブルーフラッグについてはどうか。
- 一年を通じて海岸組合が逗子海岸のことを考えて行動してくれていることはありがたい。
- 内容的なアピールがもっとほしい。逗子がブルーフラッグの中で特化していることのアピールとかもあればそのアピールがあると良い。今年はこちら、来年はこちら、というようなアピールを続けて、イメージづくりをしていくべき。
- 海岸に掲げていたブルーフラッグは、遊泳の青旗と誤認されていると思う。
- 今年はブルーフラッグをまず見てもらうのが一番だったと思うが、来年度以降は逗子らしいアピールをしていくと良いと思った。まちを巻き込んだ取り組みができていくと良いと思う。

3 その他

- ・ 事務局より、今後のスケジュールについて説明を行った。
 - 今回の意見等を報告書案にまとめて、12月の検討会でさらに協議・検討してもらう。
 - 現在のメンバーの任期が来年2月末であることから、1月を目途に報告書をまとめる流れを想定している。

以上